

高知県感染症発生動向調査（週報）

2019年 第24週 （6月10日～6月16日）

風しんの追加的対策に係る事業の実施について（無料の風しん抗体検査及び定期的予防接種（第5期））

対象者：1962（昭和37）年4月2日から1979（昭和54）年4月1日生まれの男性

ただし、2019年度は1972（昭和47）年4月2日から1979（昭和54）年4月1日生まれの男性に一括してクーポン券を配布し、1962（昭和37）年4月2日から1972（昭和47）年4月1日生まれの男性については、本人がクーポン券希望する場合において住所地の市町村が個別に発行することとなっています。

実施期間：2019年4月1日～2022年3月31日までの3年間

風しんは、感染力の強い感染症です。感染を拡大させないために、抗体検査をうけましょう。

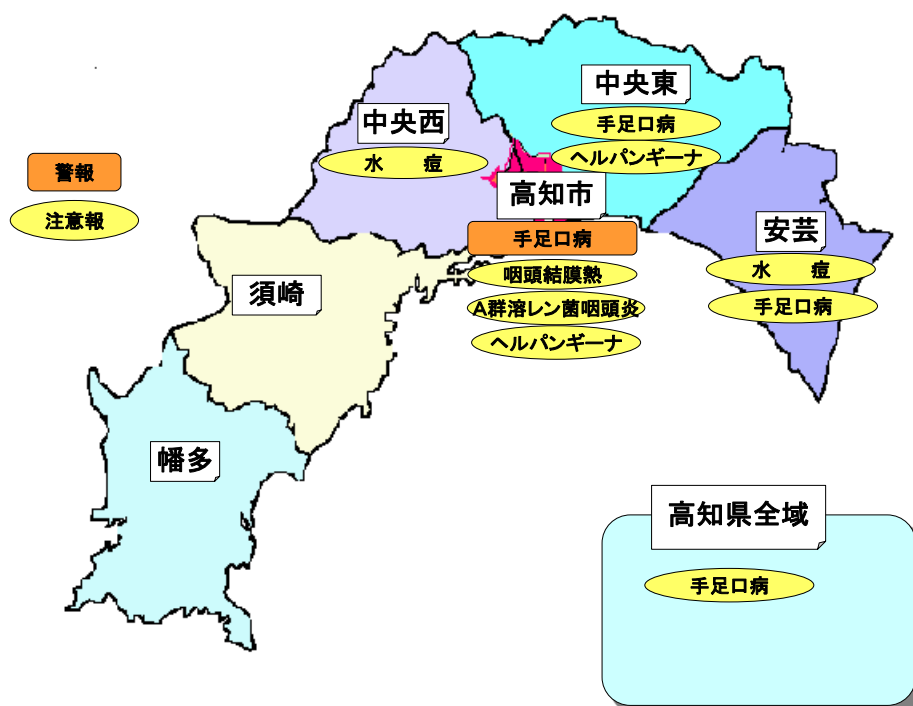
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患5疾患）

↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
手足口病	↑	4.60	幡多で減少していますが、県全域、高知市、安芸、中央東、須崎で急増し、高知市では警報値を、県全域、安芸、中央東では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	↘	3.43	県全域、中央東、中央西で減少しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	2.83	須崎で急減していますが、幡多で急増、中央西で増加し、高知市では5週連続で注意報値を超えています。
ヘルパンギーナ	↗	1.47	中央西、安芸で急増、県全域、高知市、中央東で増加し、高知市、中央東では注意報値を超えています。
咽頭結膜熱	→	0.77	幡多で増加し、高知市では4週連続で注意報値を超えています。

★地域別感染症発生状況



【感染症予防の基本】

手洗い：感染症予防の基本は手洗いです

・爪は短く切っていますか？

・指輪・時計ははずしていますか？

- ① 石けんを泡立て、手のひらをよくこすります
- ② 手の甲、指の間や指先、ツメの間まで丹念にこすります
- ③ 親指をねじり洗いし、手首も忘れずにあらいま
- ④ 石けんを洗い流し、清潔なタオルで拭き取って乾かします

汚れの残りやすいところも丁寧に：指先、指の間、爪の間、親指の周り、手首、手のしわ



★県内で注目すべき感染症（注意点や予防方法）

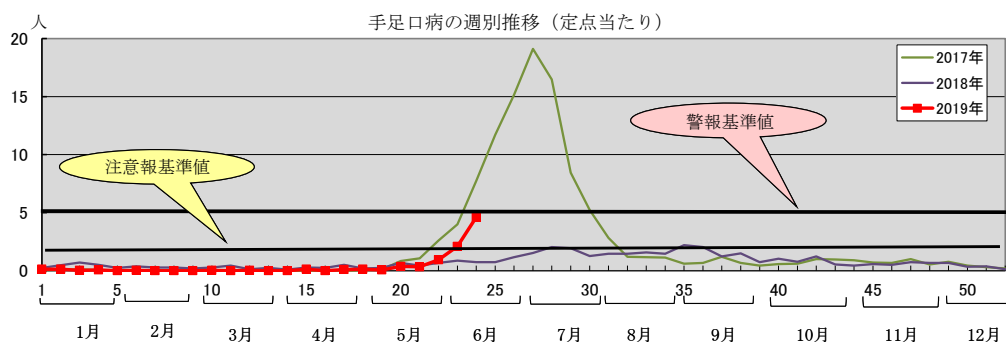
○夏型感染症（咽頭結膜熱・手足口病・ヘルパンギーナ）に気を付けて！

例年、6月頃から増えはじめ、7月頃にピークを迎える夏型感染症の報告数が増加していますので注意しましょう。

<手足口病>

手足口病は、4歳くらいまでの幼児を中心に夏季に流行が見られる疾患です。2歳以下が半数を占めますが、学童でも流行的発生がみられることがあります。特に、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。

通常は3～5日の潜伏期において、口の中、手のひら、足の裏や足背などに2～3mmの水疱性発疹ができます。ほとんどの発病者は数日間のうちに治る病気ですが、ごくまれに髄膜炎や脳炎などを生じることがありますので、高熱や嘔吐、頭痛などがある場合は注意してください。また、倦怠感や口腔内の痛みなどから食事や水分を十分にとれず、脱水になることもありますので、こまめな水分補給を心がけてください。



手足口病 高知県の保健所別の定点当たり報告数と警報・注意報レベル状況

	今週		1週前		2週前		3週前		4週前	
	第24週		第23週		第22週		第21週		第20週	
	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況
高知県全域	4.60	○	2.10	○	0.93	-	0.33	-	0.37	-
安芸	3.50	○	-	-	5.00	△	0.50	-	-	-
中央東	3.00	○	1.29	-	0.71	-	0.29	-	0.14	-
高知市	9.27	△	4.18	○	0.55	-	0.55	-	0.82	-
中央西	0.67	-	0.67	-	0.33	-	0.33	-	-	-
須崎	1.00	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-
幡多	0.80	-	1.20	-	1.20	-	-	-	-	-
全国			2.79	○	1.95	-	1.54	-	0.96	-

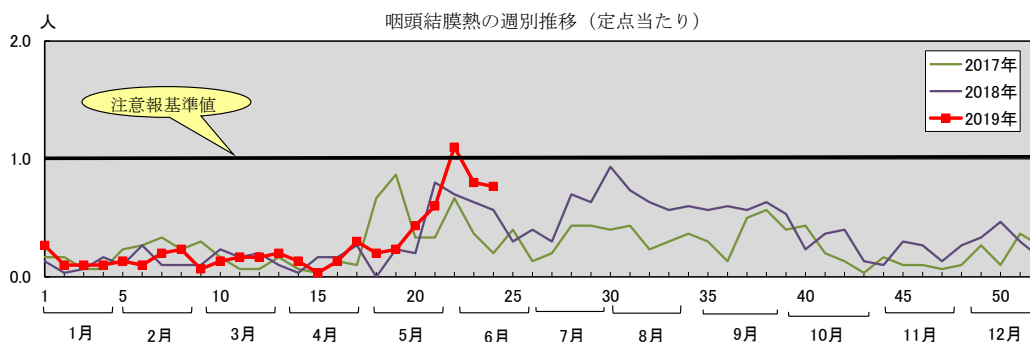
注意報値：○（2以上5未満） 警報値：△（5以上）

<咽頭結膜熱>

発熱・咽頭炎及び結膜炎を主症状とする急性のウイルス感染症です。

潜伏期は5～7日で、症状は発熱、咽頭炎（咽頭発赤、咽頭痛）、結膜炎が三主症状です。

小児、特に5歳以下に多く、例年5月中旬から下旬頃にかけて患者数が増加し始め、7月下旬から8月上旬をピークとする流行が見られる夏期の疾患で、プールを介して流行することが多いことから、「プール熱」とも呼ばれています。プールや温泉施設を利用する際は、前後にしっかりとシャワーを浴びるようにしましょう。



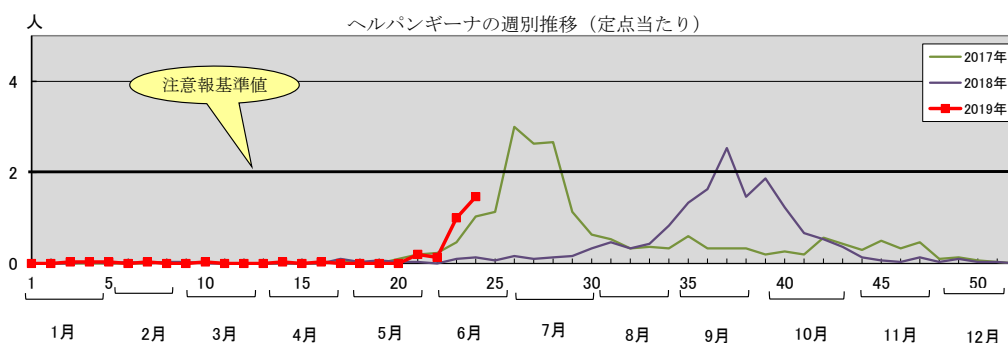
【学校感染症】

咽頭結膜熱は学校保健安全法（同法施行規則第 19 条、第 20 条）では、出席停止期間の基準が「主要症状が消失した後 2 日を経過するまで」と規定される学校感染症（第 2 種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないと規定されています。

＜ヘルパンギーナ＞

夏から秋にかけて流行する疾患で、発熱と口腔粘膜にあらわれる水疱性の発疹を主症状としたいわゆる「夏かぜ」の代表的疾患です。

2～4 日の潜伏期の後、突然の高熱、咽頭痛や咽頭発赤が現れます。口腔内の痛みがあり食事がとり難いため、柔らかく、薄味の食事を工夫し、水分補給を心掛けましょう。



＜予防方法＞ これらの疾病は主に接触感染、飛沫感染、患者の便により感染が拡大します

- ・手洗い・うがいが大切です。流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- ・タオル・コップ等は別のものを使い、感染者との密接な接触はさけるようにしましょう。
- ・手足口病は治った後も比較的長い期間便の中にウイルスが排泄されますし、感染しても発病しないままウイルスを排泄している場合があると考えられています。しっかりした手洗いが大切です。

●厚生労働省 「手足口病に関する Q&A」平成 25 年 8 月

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html>

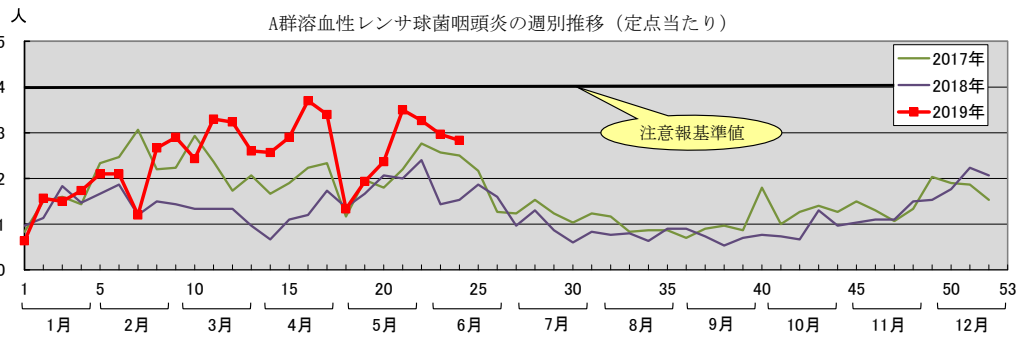
●厚生労働省 「わかりやすい感染症 Q&A」(O157, ねん病, つつが虫病, 高病原性インフルエンザ, 咽頭結膜熱, 感染性胃腸炎, 手足口病, 伝染性紅斑, 突発性発疹, 風しん, ヘルパンギーナ, 麻しん, 流行性耳下腺炎, インフルエンザ)

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou16/01.html>

○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

この病気は A 群レンサ球菌による上気道感染症です。

典型的な症状は、2～5 日の潜伏期を経て、突然 38℃以上の発熱、咽頭発赤、莓状の舌などがみられます。1 週間以内に症状は改善しますが、まれに重症化し、喉や舌、全身に発赤が広がる全身症状を呈することがあります。



＜予防方法＞ 手洗い、咳エチケットが有効です

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」あるいは細菌が付着した手で口や鼻に触れる「接触感染」が主な感染経路になります。患者との濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットを心掛けましょう。

☆ダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS）に注意！

第24週に安芸福祉保健所管内から「日本紅斑熱」の発生届けが1例ありました。

「日本紅斑熱」や「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖かい春から秋にかけて盛んに活動し、この期間に多くの患者発生がみられます。暖かくなってきましたので、屋外で活動される場合はマダニ対策を心がけましょう（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
- ペットの散歩等でマダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

国内で入手できる忌避剤の種類と特徴

忌避剤	有効成分含有率	分類	有効持続時間	注意事項	特徴
ディート	5～10%	防除用 医薬部外品	1～2時間	6ヶ月未満児には 使用禁止	・独特の匂い ・べたつき感
	12%	防除用 医薬品	約3時間	使用禁止	・プラスチック・化学繊維・皮革を 腐食することもある
	高濃度製剤 30%	防除用 医薬品	約6時間	12歳未満は 使用禁止	
イカリジン	5%	防除用 医薬部外品	～6時間		
	高濃度製剤 15%	防除用 医薬品	6～8時間		

※国立感染症研究所「マダニ対策、今できること」より抜粋
※市販の虫除け剤（忌避剤）は、用法・用量・使用方法等をよく読んで使用してください。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診してください。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出てください。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_qa.html
- 高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
24	感染性胃腸炎	下痢,嘔吐,嘔気,	5	男	幡多	Astrovirus NT
24	肺炎	40℃,咳嗽,肺炎,発疹,	1	女	高知市	Human herpes virus 6
24	不明熱	42℃,咳嗽,	1	男	須崎	Human herpes virus 6
24	気管支炎	39℃,咳嗽,気管支炎,	4ヶ月	女	高知市	Human metapneumovirus

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
23	—	腹痛,	2	男	幡多	Adenovirus 1
23	咽頭結膜熱	39℃,上気道炎,結膜炎,	2	男	高知市	Adenovirus 3
23	手足口病	38℃,発疹,	1	男	幡多	Coxsackievirus A6
23	不明発疹症	39℃,発疹,	1	男	須崎	Echovirus 11
23	不明発疹症	39℃,嘔吐,嘔気,発疹,	1	女	須崎	Echovirus 11
23	手足口病	38℃,	3	女	幡多	Enterovirus 71
23	—	38℃,	1	女	幡多	Rhinovirus
23	—	発疹,	7ヶ月	女	幡多	Rhinovirus

<国内の手足口病由来ウイルス検出状況>

国内の手足口病由来のウイルス検出状況は、直近5週間(2019年第17週～第21週)では、Coxsackievirus A6の検出割合が最も多く75%(15件)、次いでCoxsackievirus A16が20%(4件)、Rhinovirusが5%(1件)となっています。

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結 核	1	55	70歳代 男	安 芸
		1		20歳代 男	中央東
		1		70歳代 女	高知市
		1		80歳代 男	
		1		20歳代 男	須 崎
4類	日本紅斑熱	1	3	90歳代 女	安 芸
	レジオネラ症	1	3	60歳代 男	高知市
5類	百日咳	1	88	40歳代 男	中央東
		1		10～14歳 男	高知市

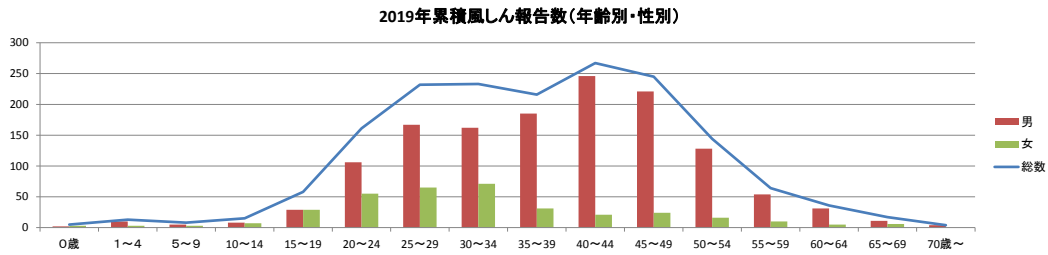
★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	早明浦病院小児科	ノロウイルス1例(4歳男) アデノウイルス1例(1歳男)
	高知大学医学部付属病院小児科	咽頭結膜熱(アデノ)1例(1歳男) インフルエンザB型(ノロウイルス腸炎合併)1例(2歳男)
高知市	高知医療センター小児科	アデノウイルス1例(1歳女) hMPV2例(1歳女、2歳男)
	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス咽頭炎3例(1歳2人、2歳) 病原性大腸菌O-25腸炎1例(16歳)
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症14例 手足口病13例 伝染性紅斑1例(11歳男)
	細木病院小児科	ノロウイルス1例(10ヶ月男)
中央西	くぼたこどもクリニック	溶連菌1例(4歳女:須崎市)
須 崎	もりはた小児科	滲出性扁桃炎(アデノ)4例(1歳) ヘルペス性歯肉口内炎1例(11ヶ月女)

★県外で注目すべき感染症

○風しんの届出数が多い状態が継続しています

2019年第1週～23週の報告数は1718人となっており(2018年の同時期全国で35人)、94%(1619人)が成人で、30歳から50歳代の男性を中心に(男性1369人、女性349人)に報告数の多い状態が継続しています。



報告数の多い都道府県は、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、大阪府以外に福岡県、愛知県、兵庫県、広島県、北海道など首都圏以外の地域からも報告が認められています。

今後、感染が拡大する可能性がありますので、人混みを避けるなどさらなる注意・予防に努めましょう。

【風しんについて】

症 状 : 発熱、発疹、リンパ節の腫れ
 感 染 経 路 : 患者の咳やくしゃみのしぶきによる飛沫感染および接触感染でヒトからヒトへ感染
 潜 伏 期 間 : 2~3 週間程度
 感染性のある期間: 発疹のでる 7 日前から発疹出現後 7 日くらいの間

【風しんを疑ったら】

発熱や発疹など風しんに特徴的な症状が現れた方は、必ず事前に医療機関に連絡の上、受診してください。

【予防方法】

- ・風しんの予防、感染の拡大防止には予防接種が効果的です。
 風しんの定期接種対象者は、予防接種を受けましょう（1 歳児、小学校入学前 1 年間の幼児の方）
- ・風しんに感染した方の周りに抗体の低い妊婦がいる場合、特に妊娠 20 週頃まで（妊娠初期）の女性が風しんに罹ると胎児が風しんウイルスに感染し、難聴や心疾患など様々な障害（先天性風しん症候群）をもった赤ちゃんが生まれる可能性があります。妊婦や赤ちゃんを守る観点から妊婦の周りの方（夫、子供及びその他の同居人）は風しんに罹らないように予防に努めましょう。

【風しんの抗体検査について】

県及び高知市は、風しん及び先天性風しん症候群の発生の予防及びまん延防止を図るため、高知県内在住（住所を有する者）の妊娠を希望する女性やその家族などに対して無料の風しん抗体検査を実施しています。
 抗体検査を実施する医療機関により検査受付は異なりますので、受診を希望する医療機関に事前にお問い合わせください（住所を証明する書類（運転免許証や健康保険被保険者証等）を持参ください）。

無料の風しん抗体検査の実施及び抗体検査の委託を受けた医療機関（高知県健康対策課ホームページ）

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/fushinkensa.html>

また、風しんの追加的対策として 2019 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで以下の対象者は無料の風しん抗体検査及び定期の予防接種(第 5 期)を実施しています。

2019 年度は、

- ・1972 年（昭和 47）年 4 月 2 日から 1979 年（昭和 54）年 4 月 1 日生まれの男性について、一括してクーポン券を配布
- ・1962（昭和 37）年 4 月 2 日から 1972（昭和 37）年 4 月 1 日生まれの男性については、本人がクーポン券を希望する場合において、住所地の市町村が個別に発行

受診可能な医療機関をご確認のうえ、各医療機関にお問い合わせください。厚生労働省「風しんの追加対策について」（風しん抗体検査・風しん第 5 期定期接種受託医療機関）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/index_00001.html

なお、受診時には本人確認（免許証、マイナンバーカードなど）ができる書類をご持参ください。

風しんの追加的対策 Q&A（対象者向け） <https://www.mhlw.go.jp/content/000493833.pdf>

【各医療機関管理者の皆様へ】

（高知県健康対策課 平成 30 年 8 月 17 日付け 30 高健対第 859 号「風しんの届出数の増加に伴う注意喚起」より）

- 1) 発熱や発疹を呈する患者を診察した際は、風しんに罹っている可能性を念頭に置き、最近の海外渡航歴及び国内旅行歴を聴取し、風しんの予防接種を確認するなど風しんを意識した診察をお願いいたします。

2) 風しんを疑う患者を診察した際は、確定診断のためのウイルス検査を県衛生環境研究所で行いますので、直ちに最寄りの福祉保健所又は高知市保健所へ届け出るようお願いいたします。

●風しんの追加的対策関係：医療機関・健診機関向け手引き（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000116890_00003.html

●風しん Q&A2018年1月30日改訂版(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

●風しんについて（厚生労働省）

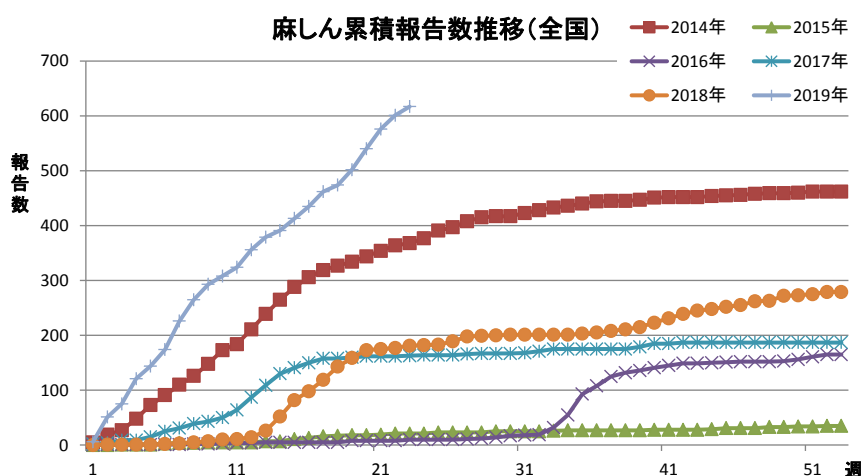
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/

●衛研ニュース第20号（高知県衛生環境研究所）30～50歳代の男性！風しんのことを知っていますか？

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2018101000056.html>

○麻しんに気を付けて！

麻しんについては、平成27年3月27日付けで世界保健機関西太平洋地域事務局により日本が排除状態にあることが認定されましたが、その後も海外で感染した患者を契機とした国内での感染の拡大事例が散見されています。2019年第1週～23週の全国の麻しんの報告数は617人と過去5年で比較して多い状態が継続しています（累積報告数：2014年462人、2015年35人、2016年165人、2017年187人、2018年279人）。今後、感染の拡大する可能性がありますので注意してください。



予防にはワクチン接種が有効です。定期接種の対象年齢になったら、予防接種を受けましょう。

【各医療機関管理者の皆様へ】

（高知県健康対策課 平成31年3月4日付け30高健対発第1886号「麻しん発生報告数の増加に伴う注意喚起」より）

- ①発熱や発しんを呈する患者を診察した際は、麻しんの可能性を念頭に置き、海外渡航歴及び国内旅行歴を聴取し、麻しんの罹患歴及び予防接種歴を確認するなど、麻しんを意識した診療をお願いいたします。
- ②麻しんを疑う患者を診察した場合は、所在地を所管する県福祉保健所又は高知市保健所に連絡し、確定診断のための県衛生環境研究所でのウイルス検査を行いますので、直ちに最寄りの福祉保健所又は高知市保健所へご連絡をお願いします。また、麻しん患者と確定した場合は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第12条第1項の規定に基づき、所在地を所管する県福祉保健所又は高知市保健所へ速やかに届け出るとともに、麻しんの感染力の強さに鑑みた院内感染予防対策をお願いいたします。

●医療機関での麻疹対応ガイドライン第七版 平成30年5月（国立感染症研究所疫学センター）

https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/measles/guideline/medical_201805.pdf

●麻しんについて（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/index.html

●麻しん（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ma/measles.html>

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2019年6月17日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第24週 令和元年6月10日(月)～令和元年6月16日(日)

高知県衛生環境研究所

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(23週)	高知県(24週末累計)		全国(23週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H30/12/31～R1/6/16	H30/12/31～R1/6/9		
インフルエンザ	インフルエンザ		2	2			4 (0.08)	1 (0.02)	1,714 (0.35)	13,747 (286.40)	1,418,947 (287.41)			
小児科	咽頭結膜熱		4	15	1		3	23 (0.77)	24 (0.80)	2,171 (0.69)	201 (6.70)	27,580 (8.75)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	6	55	9	1	9	85 (2.83)	89 (2.97)	8,426 (2.66)	1,762 (58.73)	170,126 (53.96)		
	感染性胃腸炎	2	17	52	6	1	25	103 (3.43)	129 (4.30)	19,302 (6.09)	3,549 (118.30)	437,203 (138.66)		
	水痘	3		2	3	1		9 (0.30)	7 (0.23)	1,421 (0.45)	187 (6.23)	24,949 (7.91)		
	手足口病	7	21	102	2	2	4	138 (4.60)	63 (2.10)	8,823 (2.79)	277 (9.23)	35,386 (11.22)		
	伝染性紅斑		3	7	2	1		13 (0.43)	12 (0.40)	2,246 (0.71)	192 (6.40)	47,863 (15.18)		
	突発性発疹		3	4	1		2	10 (0.33)	18 (0.60)	1,721 (0.54)	220 (7.33)	27,957 (8.87)		
	ヘルパンギーナ	1	14	24	4		1	44 (1.47)	30 (1.00)	1,786 (0.56)	91 (3.03)	6,481 (2.06)		
	流行性耳下腺炎		1					1 (0.03)	()	407 (0.13)	21 (0.70)	6,785 (2.15)		
	RSウイルス感染症			2			2	4 (0.13)	7 (0.23)	650 (0.21)	357 (11.90)	29,104 (9.23)		
眼科	急性出血性結膜炎						()	()	15 (0.02)	()	169 (0.24)			
	流行性角結膜炎	2		1			3 (1.00)	1 (0.33)	438 (0.63)	37 (12.33)	9,460 (13.63)			
基幹	細菌性髄膜炎						()	()	6 (0.01)	2 (0.25)	222 (0.46)			
	無菌性髄膜炎						()	1 (0.13)	9 (0.02)	1 (0.13)	241 (0.50)			
	マイコプラズマ肺炎			1			1 (0.13)	3 (0.38)	70 (0.15)	64 (8.00)	1,737 (3.63)			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)						()	()	2 ()	4 (0.50)	49 (0.10)			
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)						()	()	186 (0.39)	87 (10.88)	4,183 (8.73)			
計	20	71	267	28	6	46	438		49,393	20,799	2,248,442			
小児科定点当たり人数	(9.00)	(10.04)	(24.03)	(9.33)	(3.00)	(9.20)	(14.40)			(514.95)				
前週	12	69	223	23	12	46		385						
小児科定点当たり人数	(6.00)	(9.57)	(19.97)	(7.65)	(6.00)	(9.20)		(12.65)						

注 () は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点当たり

第24週

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(23週)	高知県(24週末累計)		全国(23週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H30/12/31～R1/6/16	H30/12/31～R1/6/9		
インフルエンザ	インフルエンザ		0.18	0.13			0.08	0.02	0.35	286.40	287.41			
小児科	咽頭結膜熱		0.57	1.36	0.33		0.60	0.77	0.80	0.69	6.70	8.75		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.50	0.86	5.00	3.00	0.50	1.80	2.83	2.97	2.66	58.73	53.96		
	感染性胃腸炎	1.00	2.43	4.73	2.00	0.50	5.00	3.43	4.30	6.09	118.30	138.66		
	水痘	1.50		0.18	1.00	0.50		0.30	0.23	0.45	6.23	7.91		
	手足口病	3.50	3.00	9.27	0.67	1.00	0.80	4.60	2.10	2.79	9.23	11.22		
	伝染性紅斑		0.43	0.64	0.67	0.50		0.43	0.40	0.71	6.40	15.18		
	突発性発疹		0.43	0.36	0.33		0.40	0.33	0.60	0.54	7.33	8.87		
	ヘルパンギーナ	0.50	2.00	2.18	1.33		0.20	1.47	1.00	0.56	3.03	2.06		
	流行性耳下腺炎		0.14					0.03		0.13	0.70	2.15		
	RSウイルス感染症			0.18			0.40	0.13	0.23	0.21	11.90	9.23		
眼科	急性出血性結膜炎									0.02	0.24			
	流行性角結膜炎	2.00		1.00			1.00	0.33	0.63	12.33	13.63			
基幹	細菌性髄膜炎									0.01	0.25	0.46		
	無菌性髄膜炎							0.13	0.02	0.13	0.50			
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.13	0.38	0.15	8.00	3.63		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)										0.50	0.10		
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)									0.39	10.88	8.73		
計	9.00	10.04	24.03	9.33	3.00	9.20	14.40			514.95				
前週	6.00	9.57	19.97	7.65	6.00	9.20		12.65						

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2019年 第24週)

